

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス いろは				公表日	2025 年 3 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日によって利用人数が変わるがスペースに対しては多く思う。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		人数が増えた事で目が増えて出来る事が多くなった			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		お手洗いの場所が少し離れているが良いかどうかは分からない			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		見渡せるので良いと思う			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		着替え用などの別室がある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	今、新しい職員が入ってきて順に周知している状態	広く職員が参画できるように業務調整や時間の確保を今後検討していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時に保護者との連絡は蜜にとる様になっているが、業務改善には足りない場面もある			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在の所第三者による外部評価は実施していません。必要性を検討した上で、今後体制を整えていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修をしている。	今後外部の研修にも参加したていく。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			作成をしており今年度中んお公表に向けて調整しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○	アセスメントが取りにくい家庭もあるが、送迎時に話しを聞くなど機会を設けている。	面談やモニタリング、日々の支援記録については内容をファイルに記載し共有出来る様にしていく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子供達の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別に出来た事が口頭で伝えられている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各家庭によって取り組み方が違うので意識して、計画をしている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担する事でチームで作り上げるようにしている。	足りていない所があるので今後、蜜なミーティングを行っていく。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		色々な視点から取り組んでいるがかたよりが見られる。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個人のその日の様子を見ながら取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	その日の利用者の状況や変化を職員全員が把握出来るようにしている。	以前されていたことがあったが、出勤時間の違いで打ち合わせ時間の確保が難しい等感じる職員もいます。活動内容の伝達方法や打ち合わせ時間の確保が課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	様子はとどめているが足りない所が多い。	ミーティング等で事例検討会などを行ない支援検証や改善を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	学校や他事業所での様子を共有しながら、全体像の把握に努める。	モニタリング後の個別支援計画修正した本案は全職員が把握できる様に閲覧方式で伝達共有に努める。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。		○	他の基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。利用時間が限られている為工夫して支援しています。	意識をしているが、出来ていない日もある
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子供の意思を確認しながら過ごせる様に支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援を使っている家庭が少ない。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校とは連携されているが、他はどうされているか分からない	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校のホームページなどを見ながら意識をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	声掛けをしているが、まだ足りない事が多い。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	まだ卒業した子供がいない。	お互いに情報を共有する事で今後のつながりを深めていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	今後取り組んでいく。	放課後等デイサービス連絡会や他事業所も含め事例検討会を実施していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在は行っていない。	今後要改善
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	今後参加をしたいと考えている。	要請があれば参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎(帰宅時)に当日のお様子などを伝える事を実施している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	参加してもらえる家庭が少ない	家庭によっては希望していないがした方がいいと判断した場合には連絡などを多くとる様にしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意識して意見を聞く様になっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を説明しながら同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		年齢的に子育ての悩みというより『将来』についての相談が多くある。こちらからはわかる情報をお話させていただいている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	参加してもらえない方が少ない	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	保護者からの意見は普段から聞くようにしている。	何か要望等を伺った場合は出来る限りの対応をさせてもらえる様にしていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	おたよりなどを発行している。	HPに活動報告など行っていける様に意識を持って更新をしていける様にする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報に関しては注意をしているがご指摘を頂く事もあり再度留意していきたい。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	保護者との情報のやり取りは行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方を招待する行事は行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	緊急対応マニュアル・感染症マニュアルなどは作成している。	今年度内に完成できる様にしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCPを作成して、訓練等も実施している。	今年度様々な事を想定した訓練を検討し実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	保護者の方とのやり取りで発作や投薬の情報を共有している。	研修等でてんかんなどの学習を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーの情報をもらえるようお願いをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全計画を掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットを行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止のための研修などをおこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	放課後等デイサービス計画に身体拘束することが予想される場合記載する事としている。	制限・禁止など身体拘束の適正化を図る会議を行う様にする。	